

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2021～22年度 大宮西ロータリークラブ週報

創 立：1963年3月22日

会 長 福田 和子

例会場：パレスホテル大宮

幹 事 押野 一郎

例会日：月曜日 12:30～13:30

雑誌・会報委員会 廿野 幸一

第2738例会 2022/06/27

発行日 2022/07/04



最終夜間例会

会長 福田 和子

皆様、こんばんは。多くの皆様に最終例会にご参加いただき、ありがとうございます。2770地区第4G ガバナー補佐 三枝様、ご来賓として出席くださりありがとうございます。また、一年を通じてご指導いただき感謝申し上げます。2019・2020 学年度 米山記念奨学生 ディルバさんとご家族、2021・2022 学年度 ゲンティガンさんのご出席、ありがとうございます。また、会員のご家族の皆様もご参加いただき、例会に華を添えていただき、ありがとうございます。

年度当初はコロナ禍で、なんとか初例会はできましたが、その後、まん延防止等重点措置が発令され、なかなか計画通りにいかない事もありました。そんな中でもロータリー活動は続けていかねばと、皆様、大変ご苦労されました。地域のため、世界のため、皆のために、できる範囲で奉仕活動を行いました。それも、会員の創意工夫と互いの協力があったからこそだと思います。先週

行われた年次総会では、理事役員、部門委員長、委員長の一年間の報告をいただきました。これだけの大所帯のクラブとしてとても誇れる内容でした。また、運営に関わっていただいたパレスホテル大宮のスタッフの皆様、事務局に一年間の感謝を申し上げます。それから、この本日の設えを担当いただいた、親睦委員会の皆様、ありがとうございます。そして、一番お世話になったのが、押野幹事。難題も多かったのですが、いつもフィルターにかけてから YES-NO の段階にして、私に判断しやすいように提示してくれました。誠にありがとうございました。

心に残る奉仕活動があります。児童養護施設に子ども用自転車の寄贈の話し合いのため訪れた時のこと。虐待があるなど家庭での養育が困難で、施設で暮らす約60人の子どもがいました。

小さな男の子が、私たちから離れず、ずっと付いてくるのです。とてもかわいい男の子で、連れて帰りたいたってしまふほどでした。きっと親の面影、おばあちゃんの面影を追い求めたのでしょう。帰りがけ、その子が追いかけてながら手を振ってくれているのがバックミラー越しに見られました。連れて帰れなくてごめんなさい、と胸が熱くなりました。普通なら、親や祖父母が自転車を買ってあげられるのに。市からの援助はもちろんあるのですが、各自に与えられるほどではないと聞きました。その後、彼はどうしているでしょう。大宮西 RC からは、自転車10台をプレゼントしましたので、初めて新しい自分専用の自転車に乗っているのかなと時々思います。

奉仕活動はいろいろな形があります。ロータリーとして、その表現・呼び名は多岐にわたりますが、奉仕の源流はどこにあるのでしょうか。皆さんひとりひとりの心の中にあるのです。会長をやらせていただいて、本当の“奉仕の心”を学びました。今年度やり残した事、反省もありますが、当 RC は来年60周年を迎えます。この輝かしい大宮西 RC を、皆さんの情熱とチャレンジ精神でいっそう盛り上げていただきたいと思います。

皆様への今年度の大いなる感謝と、次年度のご活躍をご祈念申し上げ、最後の最後の会長挨拶といたします。一年間、誠にありがとうございました。



心に夢を 奉仕に行動を

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4F

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/

